

尾奈学校だより

(尾奈小版)

R7.10月号

尾奈小



全力で楽しむ

最近、well-beingという言葉をよく耳にします。人が幸せと感じるには、下の4つの因子が関係するといわれています。

- ・やってみよう因子(夢や目標を達成しようと努力する)
- ・ありがとう因子(多様な人とつながり、感謝する)
- ・なんとかなる因子(物事を前向きにとらえる)
- ・あなたらしく因子(他人に左右されずに生きる)

この4因子、実は、子供たちには結構あてはまるのかなと思っています。それがだんだんとやりたいことが制約されるようになり、周りを気にするようになり、また失敗が許されなくなることで窮屈になっているかもしれません。大人もそうですが、子供たちが熱中してやってみようと思える何かが必要なのだと思います。

子供たちが意欲的に取り組んだ運動会は、子供たちの「やってみたい」や「自分らしさ」が詰まっていたように感じます。全力で楽しむという経験は気持ちがいいから、それを応援してくれる人がいることや環境に対して感謝もできるようになるのかもしれませんと思います。

一年の半分が終わり、これから後半の活動に入っています。今後も変わらぬ御支援、御協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

尾奈学校運動会では力いっぱいがんばりました

10月5日(日)に尾奈学校運動会が開催されました。1日延期となり御迷惑をおかけしましたが、よい気候の中、子供たちの一生懸命に活動する姿を見ていただきました。今年は70周年ということで、全校でのダンス曲に懐かしさを感じながら、子供たちの踊りも楽しめたのではないかと思います。子供たちの力いっぱいの走りや応援に、あたたかな拍手を送っていただき、ありがとうございました。

開会式の選手宣誓を堂々と行いました



70周年を記念するダンスを全員で披露

全力で走った徒競走、頑張りました



今年の応援は赤組が勝利しました

地域の方も一緒に玉入れをしました



総合優勝は白組がとりました



徒競走では、友達をぬかせなくてくやしかったけれど、一生けんめい走りました。勇気をだして走れてよかったです。ダンスも本気でおどれて、とても楽しかったです。(1年)



ぼくが運動会で頑張ったことは2つあります。一つ目はダンスです。ぼくは、練習の時から、踊っていて遅れてしまうのが心配でした。でも、本番では1回も間違えずに踊れたのでうれしかったです。二つ目は応援練習です。大きな声で練習は頑張れ、本番でもみんなで、全力で声を出せたのでうれしかったです。来年の運動会でも、今年と同じように頑張りたいです。(3年)

今年の運動会のスローガンに『全力を出し切れ』とあり、応援合戦で大きな声を出すという自分のめあてを達成できました。大きな声を出すために、体を反らせて声を出す練習を家でもしました。ダンスでは、楽しくリズムをとってニコニコで踊りました。だから、今年の運動会はいつもより特別な運動会になったと思います。みんなと、いつもより仲が深まったと思うのでよかったです。(4年)

私が運動会を通して学んだことは、【何があっても頑張り抜く】ことです。私は、徒競走が苦手であまり自信がありませんでした。しかし、みんなの応援してくれる姿が目に入り、全力で走り切ることができました。また、運動会は【一人では成り立たない】ということも学びました。みんなで作る一輪車の演技、道具の準備や片付けを行う中で、一人一人の手によって運動会ができるていると感じたので、中学校でもそのことを大切にしていきたいと思いました。(6年)

教えて先輩！あんなこと、こんなこと

《採蜜体験にドキドキ！ワクワク！》

9月25日(木)に5・6年生は採蜜体験を行いました。長坂養蜂場の方が来校して、まず、ミツバチの巣箱を見学しに行きました。町内には数か所あるということですが、何万匹というミツバチを目の前に、子供たちはワクワクしていました。学校に戻り、採蜜機で分離した蜜を味わい、三ヶ日ならではの体験に満足していました。



尾奈の歴史 70th

昭和56年度に現在の南校舎が改築された時の写真です。この年の全校児童数は146名でした。「人の和は美しく 努力は尊い」の石碑もこの時に設置され、別の写真からも、多くの方の思いがこの校舎に込められていることを感じました。



校長のひとりごと

放課後にペットボトルロケットを飛ばしていくと、遊びに来ていた1年生が「やってみたい」と言いました。「自分で作ってきたらいいよ」と伝えると、次の日には「作ったから飛ばしに行っていい？」と、手作りのロケットをもって放課後にやってきました。見るからに自分で作ったそのロケットは、その子の気持ちを乗せて、勢いよく空に舞い上がりました。その後、ロケット第2号も作り、また飛ばしにやってきました。なんだかうれしくなりました。

好奇心はパワーの原動力です。やってみたいを実行するこの子のように、自己実現する楽しさを体験する機会をたくさんつくれるといいなあと思います。